

平成29年度全国高等学校総合体育大会福島県実行委員会



福が満開、
福のしま。



29 南東北インターハイ NEWS

H29. 7. 18 No.28

平成29年度全国高等学校総合体育大会福島県選手団結団式 開催！



ふくしまから
はじめよう。

7月4日（火）、「はばたけ世界へ 南東北総体 2017」に向けて、福島県高等学校体育連盟主催の福島県結団式がとうほう・みんなの文化センター小ホールにて行われました。

演題：「あきらめない心・夢に向かって」

講師：三宅宏実選手（重量挙げ：ロンドン・リオデジャネイロオリンピック日本代表）

結団式に先立ち、三宅宏実選手（ロンドンオリンピック銀メダル、リオデジャネイロオリンピック銅メダル獲得、いちごグループホールディングス所属）より「あきらめない心・夢に向かって」のテーマで貴重な経験を基にした講話がありました。選手たちは、「練習は嘘をつかない」「試合本番を想定した練習が重要」との話を真剣な眼差しで聞いていました。最後に「失敗を恐れず挑戦し、夢を叶えて欲しい。」とエールを頂きました。選手からは、「日頃の練習への姿勢が大切だということであらためて認識しました。集中して練習をし、南東北インターハイでは悔いのないように頑張ります。」と感想を聞くことができました。



会長あいさつ：福島県高等学校体育連盟 廣瀬敬彦 会長
激励のことは：福島県教育委員会 大沼博文 教育次長
（公財）福島県体育協会 片平俊夫 副会長

団長の福島県高等学校体育連盟 廣瀬敬彦会長から「最高のパフォーマンスを期待しています。福島県の力を全国にアピールしましょう。」とのあいさつがあり、福島県教育委員会 大沼博文教育次長と（公財）福島県体育協会 片平俊夫副会長より激励のことはがありました。



決意表明：半沢凌太 選手（福島南高校・バスケットボール競技）
旗手：佐藤皓人 選手（日本大学東北高校・陸上競技）

選手を代表して半沢凌太選手が「福島という舞台が温かく、厳しく、大きな愛を持って私たちを育ててくれた。インターハイを地元で戦える貴重な体験を力に変えて、最後の最後まで諦めないことを誓います。」と決意表明を行いました。



ときの声：福島県高等学校体育連盟 滝田勝彦 理事長

滝田勝彦県高体連理事長のかけ声のもと、選手・監督全員でホール全体が揺れるほどのとき声を上げました。福島県選手団としての団結と士気を鼓舞することができました。



高校生活動推進委員会による激励

福島県高校生活動推進委員会7名が、結団式に参加した選手たちを歓迎し、「頑張ってください。」「応援しています。」等の言葉がけをしながらオリジナルウエットティッシュを配布しました。

また、PR活動では選手に向けての激励と各地区推進委員会が製作した9枚のモザイクアートを披露しました。結団式後にモザイクアートの前で記念撮影をする選手たちの姿もありました。

*本県選手団は、29競技に選手・監督あわせて838名が出場します。(水泳競技は、後日発表)



繋がる絆 魅せる僕らの若さ

29南東北カウントダウンレレー in 福島

今回のカウントダウン「絆リレー」は、次の5校です。

7/4 相馬農業高校 7/7 小高商業高校（現在：小高産業技術高校）

7/11 小高工業高校（現在：小高産業技術高校） 7/14 新地高校 7/17 相馬農業高校飯館校

相馬農業高校推進委員会の皆さん(7/4)

そうまのまおい



相馬農業高校は、全国的にも有名な相馬野馬追が行われる南相馬市唯一の農業学校です。部活動も盛んで、相撲部や弓道部のインターハイ出場経験もあり、生徒一人ひとりが日々の練習に真剣に取り組んでいます。まもなく開催される南東北インターハイに向けて、私たち学校推進委員会のメンバーも校内だけでなく、校外でのPR活動に全力を注ぎ、盛り上げていきます。

小高商業高校(現在:小高産業技術高校)推進委員会の皆さん(7/7)



私達、小高商業高校のインターハイ学校推進委員会では、球技大会や文化祭などの学校行事の中でPR活動をしてきました。そのほかにも、校外でのティッシュの配布など、地域のイベントなどにもPR活動を行いました。残念ながら、相双地区では競技が行われませんが、他地区に引けを取らないくらいインターハイを盛り上げていきたいと思います。

小高工業高校(現在:小高産業技術高校)高校推進委員会の皆さん(7/11)



福島県立小高工業高等学校では、陸上競技部をはじめ、各運動部が憧れのインターハイ出場を目指し、日々活動しています。昨年度、本校では「工業祭」と呼ばれる3年に1度の公開文化祭があり、地域の方々をはじめ幅広い方々に、南東北インターハイのPRをすることができました。南東北インターハイが成功するようこれからも積極的に活動していきます。

新地高校推進委員会の皆さん(7/14)



この写真を撮る直前に四つ葉のクローバーを見つけました！写真に写っているのが見えますか？いいことありそうです！新地高校推進委員会では、新地町の体育館前の花壇に南東北インターハイの看板を設置し、その周りに花を植えてPR活動を行っています。体育館の近くには、野球場・サッカー場・テニスコート・公園があるので、新地町の方々にPR活動をすることができます。新地町全体でインターハイを応援していきます。

相馬農業高校飯館校推進委員会の皆さん(7/17)



私たち、相馬農業飯館校では福島県で行われる10競技の広報活動をみんなで協力し合いながら積極的に活動してきました。私たちは仮設校舎で決して恵まれた環境ではありませんが、その中でできることを工夫し、一人一人が目標に向かって必死に取り組んでいます。インターハイに出場される選手のみなさんも日々の練習を一生懸命に行い、良い結果を残せるように頑張ってください！